

令和4年10月定例会会議録

(令和4年10月26日)

八代市教育委員会

八代市教育委員会10月定例会会議録

- 【開催日】 令和4年10月26日（水）
- 【場所】 八代市役所本庁4階 403会議室
- 【出席者】 北岡 博 教育長
渡邊 裕一 教育委員
奥村 留美子 教育委員
早田 蛍 教育委員
澤村 互寛 教育委員
- 【出席職員】 中 勇二 教育部長
橋口 幸雄 教育部総括審議員兼次長
松川 由美 教育部次長
田中 智樹 教育部理事兼教育政策課長
田北 佳一郎 学校教育課長
稲本 健一 教育施設課長
高崎 博文 生涯学習課長
櫻井 幸枝 教育サポートセンター所長
松村 哲治 教育部理事兼博物館未来の森ミュージアム副館長
長船 征洋 教育政策課長補佐
- 【事務局】 萩本 誠子 教育政策課教育政策係長
浦本 美代子 教育政策課参事

（審議事項）

<議案案件>

- ① 八市教委議第27号 八代市立博物館未来の森ミュージアム条例の一部改正について
- ② 八市教委議第28号 八代市教育委員会事務局職員の職の設置に関する規則の一部改正について

<報告案件>

- ① 報告第17号 八代市議会令和4年9月定例会について
- ② 報告第18号 令和4年度9月補正予算の概要について

1. 開会 (午後1時56分 開会)
2. 会議録の承認 令和4年7月定例会
3. 教育長報告 前回の会議から今回までに参加した行事や事業、委任された事項などの中で特に重要と思われるものについて報告

4. 議題

〈八市教委議第 27 号〉 八代市立博物館未来の森ミュージアム条例の一部改正について

松村教育部理事兼博 博物館法の一部改正に伴い、法令を引用している八代市立博
物館未来の森ミュー 物館未来の森ミュージアム条例の一部を改正するものである。
ジウム副館長

奥村教育委員 内容が変わるものではないのか。

松村教育部理事兼博 今回の博物館法の改正については 3 点あるが、本条例の内容
物館未来の森ミュー に影響するものはない。
ジウム副館長

【議案第 27 号 承認】

〈八市教委議第 28 号〉 八代市教育委員会事務局職員の職の設置に関する規則の一部改正について

田中教育部理事兼 地方公務員法の一部を改正する法律の制定により、国家公務
教育政策課長 員と同様に定年の引上げに伴う措置を講ずることとされ、令和
5 年 4 月 1 日から施行されることから、本市においても国家公
務員の取扱いを基準として、条例等で定年の段階的引上げ等を
定めるため、所要の改正が行われる。これに伴い、本市教育委
員会の関係規則の改正を行うものである。

奥村教育委員 具体的にはどのようなようになるのか。

中教育部長 現在の再任用制度は一旦なくなるが、暫定再任用という制度
が新設され再任用は 65 歳まで引き続き行われる。退職が 61
歳の場合、60 歳で役職をはずれて 1 年間在籍し、勤務時間は
フルタイムまたは短時間勤務を選択することができる。その
後、暫定再任用制度により、65 歳まで勤務することができる
ものである。

【議案第 28 号 承認】

〈報告第17号〉八代市議会令和4年9月定例会について

中教育部長

令和4年9月定例会における一般質問について、教育委員会関係が2件あった。資料により説明

① 太田広則 議員

・ICT化における子どもの目の健康予防について

② 大倉裕一 議員

・小中学校における生理用品提供の非対面化について

奥村教育委員

細かい配慮が皆さんの共通理解のもとに整っていくと、困っている子供たちにとっても良いことだと思う。生理用品という最も根本的な生活の部分の品物が、安気に手に入れることができない、使うことができない社会的な状況というのは、経済的に厳しい家庭が恒常的にあるということだと思う。学校の対応と同時に、市として厳しい状況にある家庭に対する配慮と合わせて、教育部だけでなく関係課からの意見等は議会ではなかっただろうか。生理用品でこれだけ困っているということは、他の点においてはもっと困っている状況があると思う。

中教育部長

今回は小中学生の学校における質問であったため、答弁としては教育委員会だけであった。貧困対策は学校ではできないため、市の健康福祉部が窓口になって行っている。教育部としては小中学生に関わることができるが、全体の貧困家庭への対策については、市全体で対応することになっている。例えば他の自治体では、市の庁舎や公共施設のトイレに生理用品を配置するなどの取組をしているところもある。この点については、健康福祉部で把握をしている。子供たちだけでなく全体的な対策を自治体として考えていく時代であると思う。

奥村教育委員

自由に使えない子供も大変だが、我が子がこのことで難儀している親御さんも辛いだろうと思う。新聞でも食材料が買えないというような記事を頻りに目にする。今の状況はどのようになっているのだろうかと思ったところである。

渡邊教育委員

子供の視力の低下について、中学校で全国平均より高い割合になっているが、学校訪問で特に気付いた点はあるか。

田北学校教育課長

各学校でも虫歯の治療や視力の低下については、養護教諭を中心に啓発を行っている。学習姿勢が視力に関係していると思う。最近では、机に座って自分の姿勢を保つことが苦手な子供が

増えてきていると感じている。学校ではぐう・ぺた・ぴんという姿勢を保つ呼びかけをしているところである。また、メディアの影響が大きいと感じている。メディアに対しては、ノーメディアデイからメディアコントロールという取組になった。学校でも1日2時間以上メディアを使っている子供の割合が非常に高いことは、アンケート調査等で把握している。各小・中・幼稚園が連携しながら、特に中学校のテスト期間に合わせてメディアコントロールの週間を設け、全く見ないのは難しいので、例えば毎日2時間テレビを見ている子供は、メディアコントロールの期間は1時間に抑えようというような自分の目標を設定し、毎日の記録を取り、保護者からの一言を書いてもらい学校へ提出をするという取組をしながら、生活習慣の乱れを改善しようという取組を行っている。メディアに支配されている点は改善が困難なところであるが、学校としてもさらに取組を進めていきたいと思う。

渡邊教育委員

学校訪問をしていると、授業中にスクリーンや大型テレビを使用する際に、教室によって電気を消してあるところと消してないところがあるが、実際はどちらが良いのだろうか。

田北学校教育課長

科学的な根拠は把握していない。視力低下に影響があるかを確認し、学校にも知らせたい。

中教育部長

文部科学省からICTを活用するためのガイドブックが出ており、照明環境への配慮として、カーテンによる映り込みの防止の記載がある。画面の反射やほかのものが映ると見づらいのため、配慮をするようにということである。学校ではこのような配慮を確認され、定期的に行ったほうがいいのかと思う。電子黒板についても記載されている。照明環境や使い方の配慮も注意喚起が必要ではないかと思う。

奥村教育委員

メディアコントロールについて、子供は確かに長時間タブレットなどを見ていると思う。八代市は県内でも家庭学習が少ない状況であり、将来の賢明な社会人を育てるために、保護者も今何とかしないと大変なことになるのではないかと思う。以前から不適切なサイトにアクセスしないよう子供たちが使うタブレットやパソコンの設定を保護者ができるようにしているように、セルフコントロールだけでなく、そのような機能を使うことができないかと思う。

教室の照明の配慮について、学校訪問でも画面が見えていな

いのではないかという状況を目にする。

学校で授業のお手伝いをすることがあるが、教室のカーテンがぼろぼろになっている。教室はとても大事で尊いところであると思う。学校の先生方と再点検をし、子供にとって勉強しやすい、居心地の良い教室作りをメディアの発達と同時に行ってほしいと思う。

中教育部長

以前から古いカーテンを目にするのがあり、定期的に予算化をして一掃したと思っていたが、まだ古いものが残っているのであれば対応したい。子供たちにとって望ましい教育環境を支えていきたいと思う。

〈報告第18号〉 令和4年度9月補正予算の概要について

松川教育部次長

9月定例市議会において可決されたものについて、資料により説明

- 学校教育訴訟関係事業
- 社会教育センター管理事業
- 新型コロナウイルス感染症対策事業（図書館管理運営）

5. 連絡事項

教育政策課 学校給食アレルギー対応食提供事業・新入生保護者説明会（11/2）
氷川町及び八代市中学校組合定例会（11/11）

学校教育課 令和4年度運動会の終了について
ALTの退職と担当校の再編成について
幼稚園の満3歳児受入れについて（令和5年度から）

生涯学習課 社会教育委員会議（10/31）
キッズチャレンジ2022八竜天文台に泊まろう（10/29・30）
親子で楽しもう里山体験（11/19）
図書館本館休館（11/14～12/3）

教育サポートセンター トワイライトセミナー（月2回開催）
くま川教室の最近の様子について
八代市PTA研究大会・合同研修会（10/30）

博物館 秋季特別展覧会（10/21～11/27）

事務局 11月定例会日程確認（11/21 14:00～）

奥村教育委員

意見ではないが、思ったことを2点伝えたい。

1点目は、先に提案のあった「教育委員会事務局職員の職の

設置に関する規則」というタイトルを見たとき、これから任用形態が変わっていくのだろうと感じた。退職後、非常勤職員の立場で八代市教育委員会の教育活動を支えている方が多くおられる。今後は、年金支給開始年齢が働き方に影響してくると思うが、65歳までは再任用などの正規の任用となるので、非常勤職員の確保が難しくなるのではないか。非常勤職員に支えられている教育サポートセンターにしてもくま川教室の指導員の先生方にしても、とても重要な職種であるため、今後の人材確保についてとても不安に思う。実際、教育サポートセンターの特別支援教育アドバイザーは1名欠員のままである。ぜひ、身近な喫緊の課題として皆で悩めたらよいと思う。

2点目は、先だって、博物館の秋季特別展覧会の開会式に参加した。八代市のルーツを知るととても鑑賞深いものだったが、私たちが感動したイベントに子供がどういう姿で来るのか、展示物を見るのかを考えてしまう。展示が大人向けだったので、子供が一人で八代の価値を見ることができる工夫があるとよいと思った。このような展覧会は、ぜひ、子供につなげてほしい。

松村教育部理事兼博物館未来の森ミュージアム副館長

この意見については、職員で共有したい。

北岡教育長

人材の確保については、課題である。定年延長が始まり、年金の問題もあり、年齢も考慮しなければならず、今までと同じ考え方では人材が確保できない状況にある。これについては、考えていきたいと思う。

早田教育委員

最近、熊本市の水検定を受験した。熊本市の水が町中でどんどん沸いているということに興味を持ち、検定を受験した。インターネットで受験できるものだった。先日、博物館の秋季特別展覧会を鑑賞して、八代市の歴史も大変奥深く、興味深いものであると思った。これをどう子供たちにつなげるかを考えたとき、整備するのは大変な労力と思うが、検定などがあれば、小学生なども興味を持ち、全国に八代の歴史を紹介できるのではないかと思う。

通学路で大きい工事が始まり、大型トラックが朝の通学時に通っていたため、子供たちが危険だと思い、学校に相談した。工事業者に学校から連絡をしてもらおうと、すぐに工事の時間をずらすなどの対応してもらい大変ありがたかった。子供を皆さ

んで守ってもらっているということを感じた。

奥村教育委員

通学路の白線が消えている箇所を見かけるが、この白線は、どのような状態になったら引いてもらえるのだろうか。どこが対応するのだろうか。交通量が多い道路を子供たちが歩いているのを見るが、ランドセルが車に巻き込まれたら大変なことになると思うことがある。白線が子供たちの命を守ってくれるものだと思うので、白線がくっきり引かれているとよいと思う。

北岡教育長

国道、市道などがあり、それぞれ管理している部署が違うので、建設部に意見を伝えたいと思う。

5. 会議録署名委員
の指名 奥村委員・早田委員

6. 閉会 (午後3時20分 閉会)

令和 年 月 日

署名委員

記録者
